



首都圏空港機能強化の 具体化に向けた協議会【資料】

成田空港圏自治体連絡協議会 会長 小泉 一成



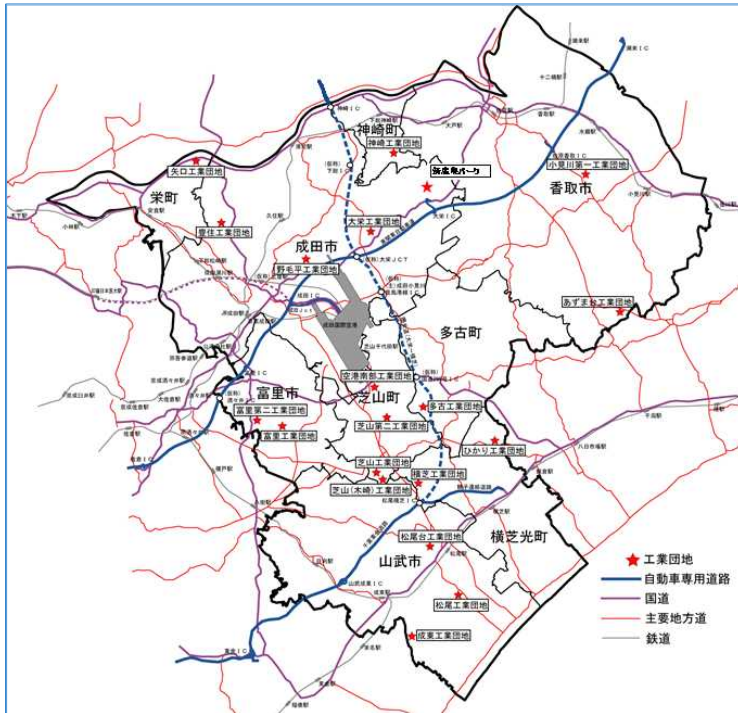
成田空港の空港圏への経済効果

◆成田国際空港が立地することにより、開港当初から比べると、人口、雇用、財政規模、企業立地などの全てにおいて増加している。

成田空港圏とは・・・成田市、芝山町、多古町、富里市、香取市、山武市、栄町、神崎町、横芝光町の9市町

成田空港圏の規模：人口 396,606人 世帯数 145,222世帯
(H22国勢調査より)

空港内就業人口：空港内従業員数 38,689人
うち 空港圏 20,682人 (構成比 53.5%)
(2011年度 成田空港内従業員実態調査より)



◆ 工業団地と企業数

	工業団地数	企業数
成 田 市	4カ所	47社
富 里 市	2	35
香 取 市	2	20
山 武 市	3	25
栄 町	1	22
神 崎 町	1	6
多 古 町	1	11
芝 山 町	4	45
横 芝 光 町	2	19
合 計	20	230

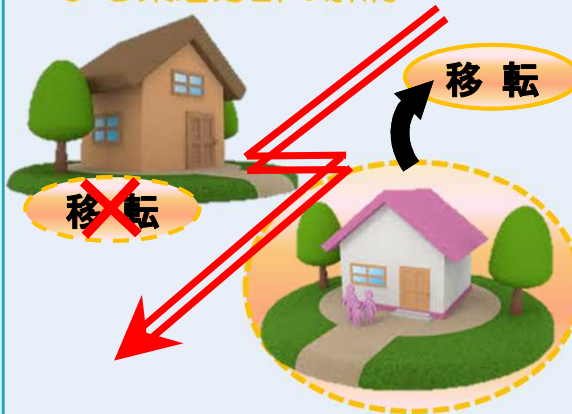
空港圏の騒音地域の実情と課題

◆成田空港の機能強化を検討する際には、騒音地域に以下の課題・要望があることへの配慮が必要。

1. 落下物からの危険を回避するための移転補償



2. 騒音対策に係る区域指定による集落分断の解消



3. 夜間における航空機騒音の評価と対策



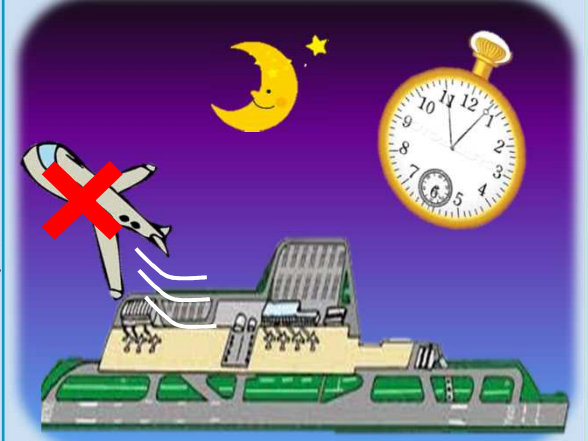
4. 住宅防音工事の施工内容の改善



5. 周辺対策交付金の拡充



6. 運用時間の厳守



2. 豊富な国際線ネットワークを活用したトランジット機能の強化

◆**アジアのゲートウェイ**として国際競争力を有する国際拠点空港は成田空港であり、国家戦略として**トランジット機能も含め、空港機能の強化**をすべき。

トランジット旅客の市内観光への誘致

- ⇒ ① 海外での徹底的なPR
 ② 空港やホテルから市内へのアクセス整備（短時間で周遊できるツアーなど）
 ③ 入国管理の円滑化（入国審査に係る所要時間を20分以内に、ビザ・寄港地上陸許可（ショアパス）の緩和）

～成田空港の強み～

- ◆世界34カ国3地域、100都市と結ばれた充実した国際線ネットワークを有する。◆米国と東アジア・東南アジアを結ぶトランジット拠点の位置にある。
 ◆国際線は年間17万回が運航され、国内他空港と比較して群を抜いている。 ◆昨年3月からオープンスカイが導入され、平成26年度中に年間発着容量30万回に向けた空港機能の強化が行われる。

空港名	就航都市数 (2014夏)	国際線発着回数 (2013年)	国際線旅客数 (2013年)
成田	100都市	17万回	3,055万人
関空	68都市	8万回	1,181万人
羽田	23都市	4万回	797万人
中部	27都市 (旅客便)	3万回	446万人

成田空港の現況 —ネットワーク（旅客便・貨物便計）—

成田空港はアジアと北米をつなぐ「結節点」、世界100都市と結ばれているネットワークが強み

成田空港発 就航都市一覧（経由地含む）

34カ国 3地域 100都市

